
アプリケーション開発

WPF アプリ

【目次】

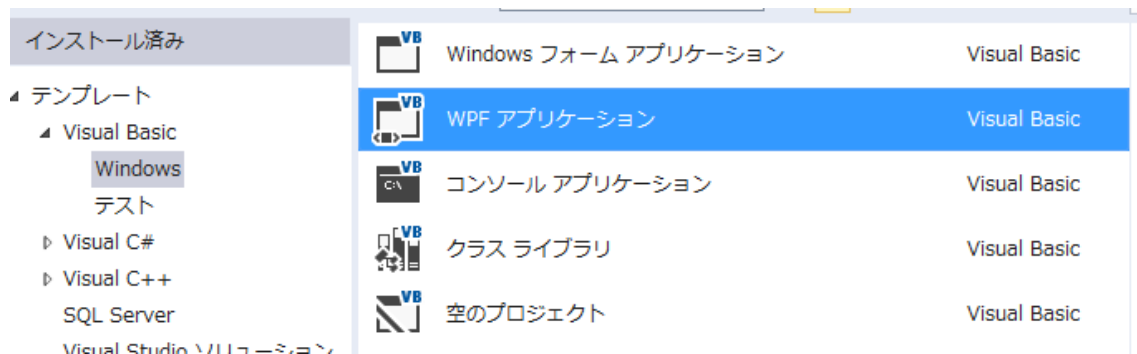
| | |
|----------------------|---|
| WPF アプリケーションを作る..... | 3 |
| 最初の選択を WPF にします..... | 3 |
| 色を付けてみる..... | 5 |
| 計算させる..... | 6 |

WPF アプリケーションを作る

いままで作ってきたので、Windows フォームアプリケーションでしたが、今回は WPF アプリケーションという、画面の自由度の高いアプリケーションを作ってみましょう。

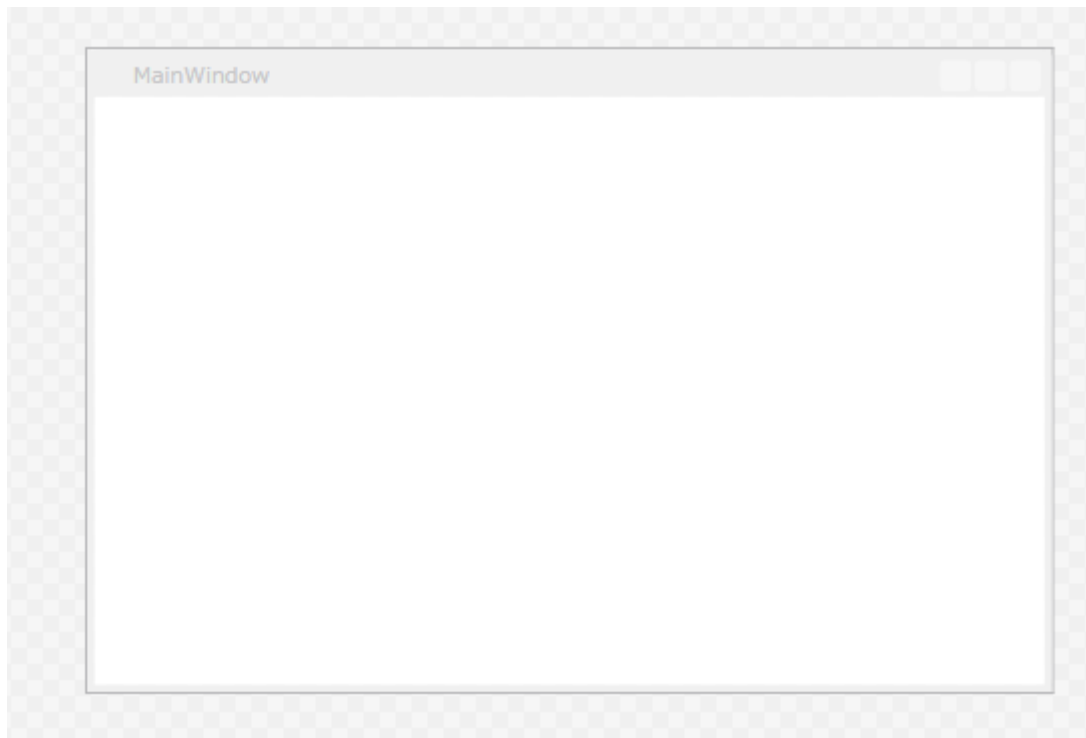
最初の選択を WPF にします

新しいプロジェクトを選択して、WPF アプリケーションを選択します。

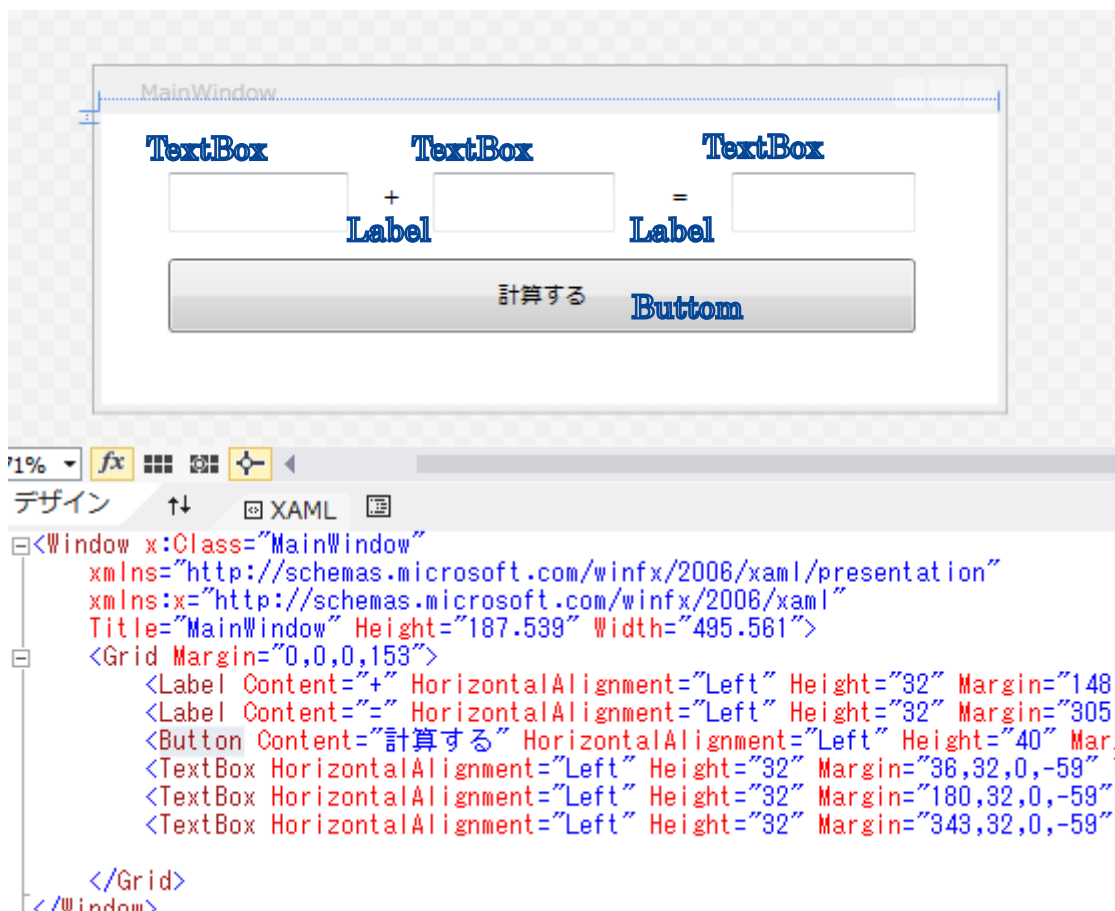


名前を WPFcluc として、プロジェクトを作りましょう。デザイナーの立ち上がる時間が掛かりますが、しばらくまってください。

次のような画面が立ち上がります。



しかし、画面を作るのは、Windows フォームアプリケーションとほぼ同じです。
 次のような画面を作ってください。



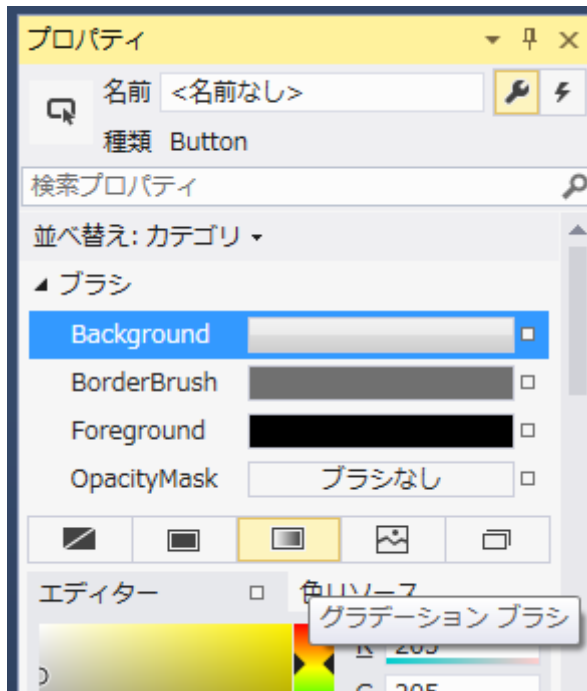
上のデザイン画面に TextBox,Label,Button を張り付けてサイズを調整してください。
 デザインが変わるたびに下の文字列が変わります。この文字の部分 XAML(ザムル)とい
 います。ホームページの HTML と同じ考え方です。また名前は自動では付かないので、名前
 を付けてください。

| 名前 | Text または Content | プロパティ |
|-----------|------------------|-------|
| txtBox1 | なし | |
| (名前なしラベル) | + | |
| txtBox2 | なし | |
| (名前なしラベル) | = | |
| txtBox3 | なし | |
| btnCulc | 計算する | |

色を付けてみる

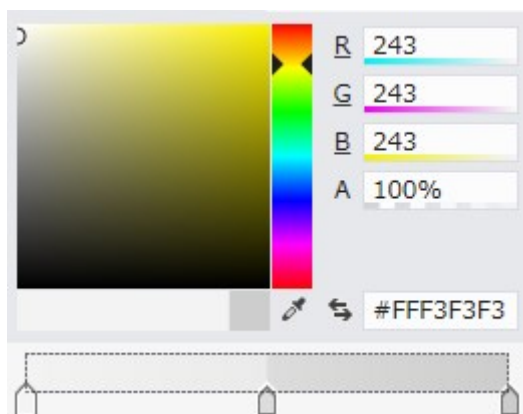
TextBox や背景に単純な色を付けるのはいままでもできたのですが、WPF になると HTML の CSS のように、グラデーションを付けたりできます。

たとえば Button に黄色系のグラデーションを付けてみましょう。



プロパティのブラシのグラデーションアイコンをクリックしてから色のスライダーの黄色のあたりをクリックします。

次に方の色を選択します。グラデーションの左隅のアイコンをクリックします。するとカラー選択画面の中に丸が現れるので、その◎を着色したい明るい色に合わせます。



同様に右端のアイコンをクリックして濃い色に合わせます。Button の場合は、上半分はシルバーになります。



こんな風に着色できます。また TextBox は回転もできます。

計算させる

書き込みのボタンの名前の右側にカミナリアイコンがあります。ここをクリックして Click の枠の中をダブルクリックするとプログラムを記述できます。

```
Private Sub btnCulc_Click(sender As Object, e As RoutedEventArgs) Handles  
btnCulc.Click  
    Dim dat1 As Double  
    Dim dat2 As Double  
    Dim dat3 As Double  
  
    dat1 = Double.Parse(txtBox1.Text)  
    dat2 = Double.Parse(txtBox2.Text)  
    dat3 = dat1 + dat2  
    txtBox3.Text = dat3  
  
End Sub
```

小数点を入力されても大丈夫なように、Double にしてあります。入力のエラー判定などはまだ入れていませんので、チャレンジしてみてください。